

JAC AWARD 2022

未来をつくるあなたへ。

「JAC AWARD」は、映像文化発展のため、
映像クリエイターの発掘・育成・映像技術の向上や
若手のモチベーションアップと人材育成を図り、
制作サイドの見地から表彰を行う賞として
2007年に設立されました。

プロデューサー部門/プロダクションマネージャー部門
ベストプラクティス部門/プロダクションサポート部門
ディレクター部門/ディレクター個人応募部門

今回から制作実費の上限を設けた
ディレクター個人応募部門を新設。

現在は6部門までその枠を広げ、
映像コンテンツ制作を支える全ての人を対象とした賞に
進化を遂げました。

制作業界を取り巻く環境の変化で、
より一層、未来を担う人材の発掘・育成が求められています。

あなたの新しい挑戦、
未来への取り組みをお待ちしております。

審査員

■審査委員長 ※敬称略

中島信也（東北新社）

■審査員 ※順不同・敬称略

プロデューサー・プロダクションマネージャー部門/プロダクションサポート部門

【一次審査員（アワード委員）】

阿部純（ハット）、五十嵐祐樹（アンデスフィルム）、石塚一幹（サンク）、内田直志（アームズ）、
浦野慎司（ENGINE）、大谷竜彦（東映シーエム）、賀内健太郎（博報堂プロダクツ）、
藏原康之（東北新社）、小林俊明（ドアーズ）、畔柳薫（TYO）、佐久間裕二（ロボット）、
椎橋卓見（電通クリエイティブX）、白石道彦（電通クリエイティブキューブ）、菅谷一雅（パラゴン）、
西原正浩（TheProducers）、本田達弥（ADKクリエイティブ・ワン）、元松敬介（xpd）、山田博之（AOI Pro.）、
山本真也（太陽企画）、横山真吉（シースリーフィルム）、横山隆平（東北新社）

【最終審査員】

潮田龍一（太陽企画）、岡澤のり子（二番工房）、城殿裕樹（KEY Pro）、佐藤一樹（THINGMEDIA）、
白石道彦（電通クリエイティブキューブ）、野中直（東北新社）、久松真菜（AOI Pro.）、松井一紘（xpd）、
山下誠（電通クリエイティブX）
P・PM部門：爲末巨哉（電通クリエイティブX）、宮本卓（AOI Pro.）
PS部門：赤羽久直（東北新社）、桑田朗（博報堂プロダクツ）、細谷正太（電通クリエイティブX）、渡邊信勝（ハット）

ディレクター部門/ディレクター個人応募部門

【一次審査員】

秋山貴広（博報堂プロダクツ）、新井健介（太陽企画）、池田萌（太陽企画）、大森歩（AOI Pro.）、勝倉葉子、
久家友哉（xpd）、古川原壮志（AOI Pro.）、近藤良隆（シースリーフィルム）、佐藤圭（電通クリエイティブキューブ）、
佐藤こずえ（EPOCH）、ジョン・ウンヒ（AOI Pro.）、鈴木美生、清矢陽子（ピラミッドフィルム）、高橋亀善（ヴイス）、
田中佑典（ピラミッドフィルム）、豊泉誠志（ハット）、中嶋駿介（博報堂プロダクツ）、中野拓馬（東北新社）、
西村征暁（太陽企画）、野田雄太（電通クリエイティブX）、馬場有妃子（電通クリエイティブX）、
船岡あずさ（東北新社）、寶榮夕貴（xpd）、松岡芳佳（博報堂プロダクツ）、三浦和徳（電通クリエイティブキューブ）、
吉川詩歩（東北新社）、吉村瞳（xpd）

【最終審査員】

浅野陽子（AOI Pro.）、泉田岳（太陽企画）、金澤善風（電通クリエイティブX）、
金野恵利香（TYO WHOAREYOU）、佐藤渉（TYO WHOAREYOU）、高島夏来、平田大輔

ベストプラクティス部門

【一次審査員/最終審査員】

秋山基典（キュー）、稲田翔（電通クリエイティブキューブ）、碓氷和憲（日本デザインセンター名古屋支社）、
大城立（ヴイス）、大西達也（電通クリエイティブキューブ）、岡田康宏（シースリーフィルム 名古屋オフィス）、
谷川竜之（大日）、津秋武稔（アットアームズ）、宮林和男（東映シーエム 大阪オフィス）、木綿達史（空気）

ご協賛

特別協賛

公益財団法人吉田秀雄記念事業財団

JAC AWARD 2022

ベストプラクティス 部門

**経験が少なくても、予算が少なくても、
あきらめなかったあなたへ。**

「P/PM部門は制作規模の大きい目立つ作品ばかりが選ばれている。」

そんな声を聞くことがあります。そこで、前回から、これまでのP/PM部門に加え、制作費上限を設け「創意工夫によるクリエイティブ貢献度」を評価する部門を設けました。

在京会員社の方々は勿論、今回は「在京会員社以外の方々」の応募にも

期待したいです。頑張っている各地のP/PMの皆さま、是非この機会に、

地元だからこそ実現できた広告や、創意工夫を教えてください。

募集要項

■応募規定

JAC正会員社・準会員社の社員（契約社員含む）職種不問

2023年3月31日の時点で35歳以下

（35歳を過ぎていても経験年数が5年以下であれば応募可）

※過去の同部門グランプリ（1位）受賞者は応募できません。

■対象作品

2021年9月4日～2022年9月16日までに初公開された広告に関わる

500万円(税抜)以下で制作した作品

(CM、Web(動画コンテンツ)、VP、音楽PV、インタラクティブ、デジタルコンテンツ等)

※JAC会員社の社員として携わった作品に限らせていただきます。

■相談窓口

今回は在京以外のプロダクションの方を対象に「応募に際してのアシスト」を行います。

ご希望の方はまずはJACへメール(award@jac-cm.or.jp)にてご連絡をください。

知見を持ったアワード委員が、オンライン等で丁寧にアシストいたします。

■応募方法

1. エントリー費をお振り込みの上、**9月14日（水）**までに以下①②の書類をaward@jac-cm.or.jpあてに添付でメールにてお送り下さい。

①エントリーフォーム（ワードのまま）

②振込控え（スキャンデータ JPEGもしくはPDF）

※エントリーフォームはJACのホームページ<https://www.jac-cm.or.jp>からダウンロードも可能

2. JAC事務局からJectorストレージサービスファイルのリクエスト便をエントリーフォームに記載されているメールアドレスへお送りします。

3. JAC事務局から届いたリクエスト便に以下をアップロード、返信してください。※Zipで送らないで下さい。（推奨ブラウザはGoogle Chrome、全てのデータの合計が1Gまで）

①対象作品映像※1作品の映像を3分以内（3分以上の作品は編集してください）

■ファイル形式：MP4 ■画面サイズ：1280×720ピクセル

②下記内容をまとめたA4用紙1枚。写真等の貼り付け不可、文字サイズ 10.5pt 以上厳守。

※PDF形式で提出して下さい。

■応募者が予算内でどのように工夫して制作したか。またそれによりどのように応募作品のクリエイティブに貢献したか。

■普段一番大事にしている事、信条。

■その他アピールしたい事。

アップロード〆切：9月16日（金）15:00必着

■エントリー費

1名 15,000円(税込16,500円)

【振込先】

三菱UFJ銀行 新橋支店 普通口座番号 3219964

口座名 一般社団法人 日本アド・コンテンツ制作協会

(振込手数料は各社でご負担下さい。)

■スケジュール

9月14日（水）	応募〆切（振込控え・エントリーフォームJACへメール）
9月16日（金）15:00	データアップロード〆切
9月下旬～10月上旬	一次審査
10月中旬	一次審査結果発表
11月中旬	自己PR動画提出〆切
11月中旬～下旬	二次審査
12月上旬	ファイナリスト発表
12月14、15日	オンライン最終審査会

■注意事項

※締切後の応募は審査できませんのでご注意ください。

※一次審査通過者には2分以内の自己PR動画を作成していただきます。詳細は発表時にお知らせ致します。

ベストプラクティス部門 How to Apply 応募の流れ

1. エントリー費をお振り込みの上、**9月14日(水)**までに以下をaward@jac-cm.or.jpに添付の上、メールしてください。

- ① エントリーフォーム (ワードのまま)
- ② 振込控え (スキャンデータ JPEGもしくはPDF)

JAC AWARD 2022	
ベストプラクティス部門 エントリーフォーム	
2022年 月 日記入	
ふりがな	こぐまの ジャック
氏名	こぐまの ジャック
生年月日	西暦 199● 年 4 月 1 日生 (●●) 歳
会社名	街●×△
住所	〒150-0000 東京都港区●—●—●
電話番号	03-9876-5432
メールアドレス	△×△@○○.jp
リクエスト便送り先	リクエスト便送り先が上記に記載のメールアドレスと別の場合のみ記入下さい。
メールアドレス	※こちらに記載いただいたアドレスはリクエスト便をお送りする以外には使用しません。



2. JAC事務局からエントリーフォームに記載されているメールアドレスにJectorストレージサービスからリクエスト便をお送りします。
※リクエスト便送り先メールアドレス欄にアドレスが記載されている場合はそちらのメールアドレスにお送りします。



3. このようなメールが届いたら「アップロード依頼を確認する」をクリック (パスワードはありません)

4. 以下をアップロード (**Zipで送らない**で下さい)

- ① 対象作品映像 (1作品 3分以内・MP4・1280×720pixel)
- ② 下記内容まとめたA4用紙1枚 **※PDF形式**

- 応募者が予算内でどのように工夫して制作したか。またそれによりどのように応募作品のクリエイティブに貢献したか。
- 普段一番大事にしている事、信条。
- その他アピールしたい事。

※写真等の貼り付け不可、文字サイズ 10.5pt 以上厳守。



アップロード後、必ず送信をクリック!

アップロード〆切: 9月16日(金)15:00



ATTENTION!

〆切後の応募は審査できませんので
ご注意ください!

ベストプラクティス部門 Q&A

Q: 応募〆切よりかなり早く申込をした場合、リクエスト便は早く届くのでしょうか？

A: はい。リクエスト便は3営業日以内にお送りします。いつお申込みいただいてもアップロードの期限は同じ日時となります。 アップロード〆切： 9月16日（金） 15:00

Q: 映像のないインタラクティブ、デジタルコンテンツの作品でも応募できますか？

A: いいえ。映像を使った作品である必要があります。映像以外に付随する広告がある場合はどのようなものであったか概要がわかるよう、エントリーフォームに記載下さい。

Q: 提出する用紙(A4用紙1枚)は応募申込後JACから届くのでしょうか？

A: いいえ。応募申込後、JAC事務局からはJectorストレージサービスのリクエスト便をお送りします。用紙はお送りしません。

Q: 応募には作品映像以外の資料をつけなくていいのでしょうか。

A: 応募の際にお送りいただくエントリーフォーム以外は以下の内容を網羅したA4用紙1枚10.5pt以上で記載した文章だけで結構です。会社からの推奨文や資料は不要です。

- 応募者が予算内でどのように工夫して制作したか。またそれによりどのように応募作品のクリエイティブに貢献したか。
- 普段一番大事にしている事、信条。
- その他アピールしたい事。

Q: 1500万円で3本作った場合は、単純に1本単価ですか？ 3本似た企画だったらNG、全く違う企画ならOKなど決まりはありますか？ また、スタッフが同じでコストを安くするために1年分のウェブ映像を作ってしまうようなパターンの作品は、どう線引きすればよいですか？

A: 基本的に「内容が類似する映像制作物に関しては1本とカウント」いたします。内容が違う制作物に関しては「総制作費を本数で割る。」という事で構いません。尚、審査員は制作工程について熟知しておりますので、応募内容によっては「明らかに応募予算上限を超えているという判断」を、させていただく場合がございます。

Q: Web用の3分の映像を作り、評判良かったため、それをもとに別の広告映像を作成するよう依頼されその追加費用が500万円以下だった場合、初公開が所定の期間内だった場合は応募可能ですか？

A: 応募不可です。元の映像制作に別途制作費が掛かっていると判断いたします。

Q: 出演料は制作費に含まれますか？

A: はい。制作費に含まれます。

その他応募内容に関してのご質問は**必ずメール**にて下記メールアドレスへお送りください。
営業日3日以内(土日祝日除く)にご返信いたします。
メールアドレス award@jac-cm.or.jp